



新型パーソナルクーペ「C 63 AMG クーペ」登場、 C 63 AMG (セダン・ステーションワゴン)を大幅改良 予約注文を受付開始

- ・ C クラスの新ラインアップとなるクーペモデルの第 1 弾としてハイパフォーマンスモデル「C 63 AMG クーペ」が登場
- ・ C 63 AMG (セダン・ステーションワゴン)を大幅改良。ダイナミックさを高めたエクステリアとクラスを超えた上質なインテリアを採用、ダイレクトなアクセルレスポンスとスピーディなシフトチェンジを実現した「AMG スピードシフト MCT」を搭載

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:ニコラス・スピークス、本社:東京都港区)は、Cクラスの全く新しいラインアップとして加わったパーソナルクーペの第1弾として、圧倒的なドライビングパフォーマンスの高性能スポーツクーペ「メルセデス・ベンツ 新型C 63 AMG クーペ」を追加するとともに、内外装デザインを一新し、走行性能をさらに高める新型トランスミッションを搭載するなど大幅な改良を施した新型「C 63 AMG (セダン・ステーションワゴン)」を、本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じ予約注文を受付いたします。なお、お客様への納車は10月頃を予定しております。

メルセデス・ベンツ C 63 AMG クーペのエクステリアは、長いボンネット、大きく傾けたウインドスクリーン、長く伸びたルーフ、そして細い C ピラーなどエレガントで若々しい新型 C クラスの 2 ドアクーペのプロポーションに、新設計 AMG フロントエプロン、新型ラジエターグリル、パワードームを備えたアルミニウムボンネット、ワイドなフロントフェンダーなど、AMG ならではのダイナミックなデザイン要素を融合しています。

C 63 AMG クーペのインテリアは、新型 C 63 AMG(セダン・ステーションワゴン)同様、スポーティで高品質な室内空間が広がっています。モニターを一体化した新設計のダッシュボードとインストルメントパネルは、“AMG”ロゴによるスタートアップスクリーン・レースタイマー機能をもつ専用マルチファンクションディスプレイを備えたスポーティな 3 つの独立型円形メーター、AMG パフォーマンスステアリングホイール、アルミニウム製シフトパドルなどスポーティなデザインとなっています。またセンターコンソールやダッシュボードには専用ダークアルミニウムの幅広いトリムパネルをあしらい高級感とダイナミックさを高めています。さらにセンターコンソールには、トランスミッションの C、S、S+、M モードおよびレーススタート機能を選択するダイヤルスイッチを設けています。また C 63 AMG クーペのシートは、上質な *designo* ナップレザーと水平シームラインによるスポーティなデザイン、AMG ロゴをあしらったヘッドレスト一体型の新型 AMG スポーツシートを採用しています。

エンジンは、C 63 AMG(セダン・ステーションワゴン)同様、AMG 独自開発の 6.3リッター V8 エンジンを搭載。最高出力 336kW/457hp、最大トルク 600Nm の強大なパワーにより、0~100km/h 加速 4.5 秒、最高速度 250km/h(リミッター作動)の卓越した走行性能を実現しました。

さらに各モデルともに、従来のトルクコンバーターに代え湿式多板クラッチを採用しダイレクトなアクセルレスポンスとスピーディなシフトチェンジを実現した AMG スピードシフト MCT(電子制御式 7 速スポーツトランスミッション)を搭載、通常のオートマティク・トランスミッションに見られる損失を低減し燃費効率の大幅改善に貢献しています。

また、各モデルにオプション設定の AMG パフォーマンスパッケージ(オプション価格 125 万円)は、SLS AMG のエンジンに使用されている鍛造ピストン、コンロッド、軽量クランクシャフトを採用し、最高出力を 358kW/487hp(+22kW/30hp)に高め、俊敏性とレスポンスを向上します。また、エンジンルームのチタニウムグレーペイント仕上げ可変インテークマニホールドや、AMG ハイパフォーマンスブレーキングシステム(コンポジットフロントディスク、全輪レッドペイント仕上げブレーキキャリパー)、トランクリッドに設けたカーボンファイバースポイラーリップ、AMG パフォーマンスステアリングホイール(ナップレザー巻、グリップはアルカンタラ)が装備されます。 *数値は全て欧州仕様参考値

なお、新型 C 63 AMG は、専用 web サイトを開設しスペシャルムービーや最新情報を随時公開いたします。

新型C 63 AMG専用webサイト

<http://special.mercedes-benz.co.jp/amg/c63/>

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

モデル	ステアリング	メーカー希望小売価格 ()内は消費税抜き車両本体価格	
C 63 AMG クーペ	左/右	¥10,850,000	(¥10,333,334)
C 63 AMG セダン	左/右	¥10,750,000	(¥10,238,096)
C 63 AMG ステーションワゴン	右	¥10,950,000	(¥10,428,572)

* 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。

なお、新型C 63 AMGにも、メルセデス・ケア(3年間走行距離無制限の無料修理・無料メンテナンスと24時間ツーリングサポート)が適用されます。また、メルセデス・ケアの一般保証および24時間ツーリングサポートを有償にて最大2年間延長するプログラム「My Mercedes サポート」もご用意しております。

自動車誕生 125 周年

カール・ベンツが独自に開発した 3 輪自動車の特許を申請したのは、1886 年 1 月 29 日。それ以降、この日は自動車が正式に誕生した日とされ、2011 年に 125 周年を迎えます。カール・ベンツが自動車を発明した同じ時期に、ゴットリーブ・ダイムラーは世界初の 4 輪自動車を開発していました。現在のダイムラー社とその中核ブランドであり世界的な成功を収めているメルセデス・ベンツの創始者である 2 人は独自に開発を進めながら、今日のすべての乗用車、商用車、バスの土台を築き上げたのです。自動車を発明したメルセデス・ベンツはこれ以来、駆動技術から快適性や安全性、そしてデザインに至るすべての分野において、他のいかなる自動車メーカーよりも多様に、かつ長い期間にわたり自動車の開発を続けてきました。

カール・ベンツは「The love of inventing never dies（発明への情熱は決して消えることはない）」という言葉を残しました。そして、ゴットリーブ・ダイムラーは、「The best or nothing（最善か、無か）」という有名な言葉を残しています。メルセデス・ベンツはこの基本理念に 125 年間忠実に行動してきました。“The spirit of innovation（革新の精神）”は、個人のモビリティを将来の世代にも保証し、それぞれのお客様のニーズに合った最適なクルマをお届けするという目標とともに、メルセデスの企業文化に深く根付いています。この革新はメルセデス・ベンツの系統化された研究活動を基盤としており、1970 年代初めには独立した研究部門を正式に設立しました。現在、メルセデス・ベンツには 1 万 9,000 人もの研究者と開発者からなるグローバルな知識共有ネットワークがあります。この開拓者精神、専門知識、意欲にあふれ、幅広い分野をカバーするシンクタンクを使い、メルセデス・ベンツは世界で最も優れた自動車を将来にわたりお届けしていきます。